

地域とともに歩む啓蒙っ子

福井市啓蒙小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	35回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	39人
授業ボランティア（含：低ボラ）	329人
登下校支援ボランティア	141人
その他（防犯教室）	5人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

① 農業体験・地域の文化活動・福井農林高校との連携

啓蒙地区は教育に熱心なところで、地域をあげて子どもの健全育成に取り組んでいる。本校でも、子ども会、公民館、PTA、福井農林高校等と連携し、先人を偲ぶ米作りや新保ナス栽培・子ども会行事・啓蒙太鼓の伝承・食育など地域に根付いた体験活動に取り組んでいる。具体的に、5/8の田植え、7/23の夏祭り、10/23の地区文化祭、11/6の収穫感謝祭、2/5の『雪の祭典』などは、子どもの豊かな心を育む特色ある行事として、地域に生きる学校づくりの中核となっている。

② International Day（国際交流集会）

7/9（土）、県内に在住する16カ国34名の外国の講師や留学生を招いてInternational Day（国際交流集会）を開催した。

今回で5回目となるこの集会は、啓蒙小学校が目指す子ども像の育成に関わる活動であって、様々な国の人と関わることで、子どもたちのコミュニケーションや異文化理解の能力を育むことに繋がる。また、様々な国の人とのふれあいの中で豊かな心を育てている。日頃からALTと関わっている子どもたちは臆することもなく、積極的に多くの外国の人に話しかけ、楽しく交流していた。また、多くの保護者や地域の人もこの交流集会を参観し外国のことを知ったり、子どもたちの生き生きと活動する様子を微笑ましく観察したりしていた。



「34名の外国の人の紹介」

③ 家庭教育支援チームによる子育て相談の実施

今年度も地域の家庭教育支援チームと連携した子育て相談を実施した。11月10日（木）には、来年就学する児童の親を対象に講師を招き、『伸びる子を育てる親の役目』の演題で家庭教育の講演会を開催した。また保護者懇談会の折や、定期的に（年5回）スクールカウンセラーによる「教育相談会」を行い、家庭と連携した健全な子どもの育成に努めた。

成果と課題

・豊かな心の子どもの育成には、一層地域に根付いた学校づくりを進める必要があることを再認識することができた。また、豊かな心づくりの基盤となる体験活動の充実と特色ある学校づくりには、学校教育ボランティアや地域人材の活用が有益である。今後、朝の読み聞かせやクラブ活動等に定期的に学校に来て頂く等、年間指導計画に基づく計画的・継続的な取り組みを行っていききたい。